

「石けん使おう！7月はシャボン玉月間」によせて

小鹿野町長 森 真太郎

小鹿野町は、埼玉県の西北部に位置し、日本百名山の「両神山」、日本の滝百選の「丸神の滝」、平成の名水百選「毘沙門水」と3つの百選のある自然豊かな山間の町です。

初夏には、両神山より流れ出る小森川にゲンジボタルとヘイケボタルが飛び交い、幽玄な光を放ってくれます。この素晴らしい自然環境を保ち、そして次世代に伝えていくことは、私たちの重要な責務であります。そのため町では、合併処理浄化槽の普及促進や廃食油の回収、廃油石けんづくりなどに取り組んでいます。廃油の回収は毎年4500Lを越えており、環境意識の高まりを示す結果となっております。

貴会が推進する「せっけん運動」は、身近な環境保全活動として大変意義深いものがあります。貴会の活動の輪がさらに広がりますことを心からご期待申し上げます。

「シャボン玉月間」によせて

小川町長 松本恒夫

小川町は山地から流れる清らかで豊富な水の河川・水路に恵まれ、古くから紙漉きや酒造りなどの地場産業が栄えてきたまちです。

本町では、第2次小川町環境基本計画を策定し、「里山文化が育んできた自然を愛する持続可能なまち おがわ」を目指し、自然環境や生活環境の保全等に取り組んでおります。

水質の保全を確保するため、森林の保全、環境美化、不法投棄の防止など総合的な取組を推進するとともに、公共下水道等生活排水施設の普及や利用の促進を図ってまいります。

長年にわたる貴会の活動により、一人でも多くの方が水環境に関心を持っていただくとともに、今後さらに活動の輪が広がり、大きな成果につながりますことをご期待申し上げます。

「石けん使おう！7月はシャボン玉月間」に寄せて

桶川市長 小野克典

桶川市は、土地区画整理事業などの都市基盤整備により、市街地においては都市化が進展する一方で、郊外には荒川、石川川、江川、芝川、綾瀬川、元荒川などの緑豊かな水辺空間や緑地等の自然環境が広がっています。

本市では、この豊かな自然環境を次世代に引き継いでいくため、公共下水の整備や合併浄化槽の普及促進等、市民・事業者・行政が一体となって、水環境の保全に力を入れて取り組んでおります。

結びに、「せっけん運動」を通して、人々の水環境に対する関心がより一層高まり、貴会の活動の輪が今後ますます広がりますことを、心からお祈り申し上げます。

シャボン玉月間によせて

行田市長 石井直彦

行田市は、北に利根川、南に荒川の2大河川を擁する、水と緑に恵まれたまちです。

本市では、こうした豊かな自然環境を守り、大切に次世代へと引き継いでいくため、市民、事業者及び行政が連携、協働し、河川の水質改善に向けた取組をはじめ、廃棄物の減量やリサイクルなどに積極的に取り組んでおります。

「せっけん運動」は、水環境の保全活動として大変意義深く、長年にわたる貴会の活動に深く敬意を表します。今後もこの活動の輪がより一層広がり、さらに発展していくことを心からご祈念申し上げます。

「シャボン玉月間」に寄せて

北本市長 三宮 幸雄

北本市は、埼玉県の中央部に位置し、武蔵野の面影を残す雑木林や屋敷林などが数多く残っており、市内西側には、湧水や湿地をはじめ、多様な動植物が生育・生息しています。

こうした自然環境を保全するため、第二次北本市環境基本計画を策定し、環境施策の推進を図っています。また、市内河川用排水路の水質測定や合併処理浄化槽設置の補助制度などの施策を行い、水環境の保全に努めています。

このような中、貴会の長年にわたるせっけんを通した取り組みは、環境保全を進める上でも大変意義深いものであり、今後も貴会の活動がますます発展することを心より御祈念申し上げます。

「シャボン玉月間」に寄せて

熊谷市長 富岡 清

熊谷市は、荒川、利根川という二大河川を有し、豊かな水環境や自然環境に恵まれています。

清流・元荒川には、希少魚の「ムサシトミヨ」が生息し、環境省「平成の名水百選」に選定されるなど本市の水辺環境のシンボルとなっています。

また、南部地域の清流では毎年数多くのゲンジボタルが舞い、私達を楽しませてくれます。

本市では、これらの水環境を後世に残していくために、様々な保全活動や啓発活動に努めています。

貴会の「石けんを使おう」という活動は、身近な水環境の保全に大変意義深いものと考えています。長年にわたるその活動に心から敬意を表しますとともに、今後も活動の輪が大きく広がりますことを祈念いたします。

シャボン玉月間に寄せて

鴻巣市長 原 口 和 久

鴻巣市は、首都圏 50km という都心への通勤圏に位置していることから、市街地の開発が進む一方で、河川に囲まれた田園地帯や武蔵野の面影を伝える雑木林など、水と緑に恵まれた豊かな自然環境を残しています。

本市では、この豊かな自然を守り育み、次の世代へ引き継ぐために、コウノトリの里づくりに力を入れています。今度も、市名の由来とも言われるコウノトリをシンボルとし、多くの生き物が成育できる、人にも生きものにも優しい環境づくりに努めていきます。

貴会の「せっけん運動」は、水環境の保全を通じ、SDG s の推進を図るという面でも大変意義深いものです。今後も会の活動の輪の広がり、益々のご発展をご祈念申し上げます。

「石けん使おう！ 7月はシャボン玉月間」に寄せて

秩父市長 久 喜 邦 康

埼玉県の北西部に位置する秩父市は関東山地の東側にあり、市の 87%は森林であり、その面積は埼玉県の約 40%を占めています。山肌を覆う深い森は、首都圏や周辺地域の水源域として古くから守られてきており、現在でも上流域と下流域の水のつながりを意識し、地域住民の皆様が「自然とともに生きる」という生活スタイルを守っています。

秩父の豊かな環境を次世代に確実に引き継ぐため、平成 18 年に秩父市環境基本条例を策定し、環境問題の解決に取り組んでまいりました。今後も身近な水環境を守り、自然環境の保全に取り組みます。

本年、大流行した新型コロナウイルスの予防として、石けんによる手洗いが有効であると言われております。貴会の長年にわたる活動が広がり、実り多いものとなりますよう、心からご祈念申し上げます。

「シャボン玉月間」寄稿文書

長瀨町長 大澤 タキ江

長瀨町の中央部には荒川が流れ、町全域は埼玉県立長瀨玉淀自然公園に指定されています。特に、荒川に隣接する「岩畳」は、国指定名勝・天然記念物に指定されております。水に関わるレジャー産業も活発であり毎年多数の観光客に楽しんでいただけるのは、荒川が

清流と認知されていることであり、水質が長瀨の生命線でもある重要な資源です。

当町では、祖先より受け継いだ豊かな水資源を後世に引継げるよう、公共下水道整備の推進や合併浄化槽の普及啓発等を継続的に取組んでおり、着実に水質の改善に寄与していると確信しております。

結びに、貴会の「石けん運動」には日頃より敬意を表すものであり、今後の更なる活動が広がりますことをご祈念申し上げます。

シャボン玉月間へのメッセージ

滑川町長 吉田 昇

滑川町は埼玉県の中央に位置し、首都圏 60km 圏内の町として発展してきました。町の中央を流れる滑川をはじめ 3 つの一級河川と、国営武蔵丘陵森林公園や関東一といわれる約 200 か所の「ため池（沼）」があり、谷津(やつ)という美しい景観が織りなす自然豊かな町です。

本町では、国の天然記念物ミヤコタナゴが棲める生息環境の回復に努めながら、町の将来像「住んでよかった 生まれてよかった まちへ 住まいるタウン滑川」の実現に取り組んでいるところです。その一つとして農業集落排水事業や公共下水道等の生活基盤整備の充実を図り、水の浄化活動を積極的に取り組んでいます。

結びに、貴会の活動の輪が一層広がっていくことをご期待申し上げます。

◆「シャボン玉月間」によせて

羽生市長 河田 晃明

今年は、世界中が新型コロナウイルスの感染拡大という戦後最大級の危機に見舞われ、未だ予断を許さない状況ですが、日本は都道府県をまたぐ移動の自粛の緩和など、社会経済活動を段階的に再開させました。

これからは、感染拡大の第2波を警戒し、人と人との距離の確保やマスクの着用、手洗いなど「新しい生活様式」の実践が必須となります。特に貴会の推奨するせっけんによる手洗いは、水環境の保全のみならず、命と健康を守るために大変重要なことだと思います。

「せっけん運動」により水環境の保全に取り組んでこられた貴会の長年にわたる活動に深く敬意を表するとともに、引き続き活動の輪が広がっていくことを心よりお祈り申し上げます。

シャボン玉月間」によせて

東松山市長 森田 光一

令和元年東日本台風による災害以降、多くの皆様からお寄せいただきました多大なるご支援とご協力に対し、改めて心からの感謝を申し上げます。

東松山市は比企丘陵の緑と清流の織りなす豊かな自然に囲まれた都市です。ホテルの里づくり事業や河川の水質調査等を通じて水辺空間の整備や水環境の保全に取り組んでいます。

現在、世界中で猛威を振るっている新型コロナウイルス感染防止のための対策として、水と石けんを使った丁寧な手洗いが基本のひとつとされており、市としても引き続き石けんを使った感染防止の啓発を図ってまいります。

皆様には、美しい自然というバトンを次世代につなぐため、更に活動の輪を広げられることをご期待申し上げます。

シャボン玉月間によせて

深谷市長 小島 進

深谷市は、新紙幣の肖像画、そして来年の大河ドラマの主人公に決定した渋沢栄一翁の出身地です。近代日本経済の父といわれる栄一翁は、企業の創設・育成に力をいれるだけではなく、社会の発展を考え、民間外交や教育機関・社会公共事業の支援にも熱心に取り組みました。

当市では市民団体等による河川の清掃活動が行われているなど、栄一翁が大切にしていた忠恕の精神は連綿と受け継がれています。豊かな自然環境を将来に継承していく為に、市民、事業者及び行政が相互に連携、協働しながら河川や水環境の保全に引き続き取り組んでまいります。

結びに、貴会の長年にわたる活動に敬意を表しますとともに、今後のご活躍を心からお祈り申し上げます。

「シャボン玉月間」によせて

皆野町長 石木戸道也

皆野町は、埼玉県の西北、秩父地域の東北にあつて都心から80km圏域に位置する豊かな緑と自然に囲まれた町です。

当町では、平成23年度から幼稚園・各学校用に貴会の石けんを購入し、今日まで使わせていただいております。子どもたちや先生からは、「手が荒れなくてよい」という声も聞こえてきており、大変好評を得ています。

また、昨年度は、かけがえのない自然環境を後世に残すための取り組みのひとつとして、貴会作成のPR紙「せっけんライフでハッピーライフ」を町内毎戸に配布いたしました。

結びに、長年にわたる貴会の活動に敬意を表すとともに、今後とも活動の輪がますます広

がることをご祈念申し上げます。

「石けん使おう！7月はシャボン玉月間」によせて

横瀬町長 富田 能成

横瀬町は、埼玉県の西部、秩父地方の南東部に位置し、町のほぼ中央を東西に横瀬川が流れ、埼玉県最大級の寺坂棚田が広がる緑と水の自然に恵まれた住みよいまちです。

本町は、都心から簡単にアクセスできる70km圏内にあります。都市部との交流を促進するとともに、豊かで美しい自然環境を保全し、心に残る美しい町、ここで育った子どもたちがまた帰ってきたくなるまちづくりに積極的にチャレンジしています。

貴会が長年取り組まれている石けん運動は、環境保全にとって大変意義深いものです。長年の活動に深く敬意を表しますとともに、活動の輪が一層広がるよう心からご期待申し上げます。

シャボン玉月間へのメッセージ

吉見町長 宮崎善雄

吉見町は、埼玉県のほぼ中央に位置し、東部に荒川、南西部に市野川が流れる、水と緑に囲まれた自然豊かな町です。

そして、この豊富な水資源は、多くの恵みをこの地にもたらし、私たちの生活に憩いと潤いを与えてくれました。

町では、「緑と調和した安全・安心な生活空間のあるまち」をめざして、公共下水道、農業集落排水及び浄化槽による生活排水対策を進めるとともに、町民との協働により、河川や湖沼などの水辺空間の清掃活動に取り組んでいます。

貴会の長年にわたる取り組みに心から敬意を表しますとともに、今後より一層活動の輪が広がりますことを心より祈念いたします。

「シャボン玉月間によせて」

嵐山町長 岩澤 勝

本町は、埼玉県のほぼ中央部に位置し、美しい緑と清流に囲まれ、国蝶オオムラサキが生息する自然豊かな町です。関越自動車道嵐山小川インターチェンジにより交通の利便性も良く、「蝶の里らんざん」として多くの方に親しまれています。町南部を流れる槻川周辺は、

美しい清流を残し、環境を守り水質を向上させるため、毎年多くのウグイを放流し、平成25年度より川のまるごと再生プロジェクトに取り組んでまいりました。

コロナ禍により石けんの使用が注目されている今、長年の皆様方の活動に敬意を表しますとともに、活動の輪が一層広がりますようご期待申し上げ、メッセージと致します。